

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ  
HONBETSU

2019  
May  
No.1087

5月

表紙 平成31年度  
仙美里小学校入学式



Pick up

- ✿ すべての小・中学校でコミュニティ・スクールが導入されました
- ✿ 本別山溪つつじ祭りが開催されます
- ✿ ほんべつ健康ウィーク2019が行われます
- ✿ 地域おこし協力隊が行く **Part 8**

これまで、子どもを育む仕組みや方針を学校長と教育委員会だけで決めてきましたが、地域住民や保護者の理解を得ながら取り進め、各地域の特色を活かした学校行事や事業を展開していきます。

十勝の市町村を歩き来し、いろいろな知識を持ち併せる教職員「風」と、これまで培われた知識と技能を持つ地域人財「土」が活かされる学校教育。それらが合致し、「風土」となった「本別の教育」を子供たちに提供したいと考えています。



佐々木 基裕  
教育長

## 4月からすべての小・中学校で コミュニティ・スクールが導入されました



保護者



瀧澤 修司 さん

教育の幅が広がり、地域資源を生かした豊かな教育活動が進められることにより、子供たちの人間性豊かな育みにつながればと思います。

地域住民



井出 壬午 さん

地域の子どもは地域で見守り、育てていきたいと考えています。学校とのつながりをより深め、地域として子供たちを支えていきます。

私たちは、「コミュニティ・スクール」の  
こんなところに期待します！

教職員



仙美里小学校  
大留 厚美 教諭

地域の方々に運動会や学習発表会など学校行事に関わっていただくと、子供たちと一緒に育てて行きたいです。

平成31年度の第1回本別・仙美里地区学校運営協議会が4月17日、本別中学校で開催され、同委員の皆さんからコミュニティ・スクールへの期待について伺いました。



### 具体的な取り組みは？

例えば、培った知識と技能を持つ地域人財に「学校行事に協力いただく」「授業のゲストティーチャーとして活躍していただく」「学校教育活動で困ったときの応援団として力になってもらう」等、このような事を想定しています。

コミュニティ・スクールの理念を追求し推進するためには、地域の皆さまの理解や協力が欠かせません。学校教育に地域人財が携わり、地域の人に育まれた「ふるさと一本別」の確かな記憶を子供たちへ植え付けたいと考えています。

具体的なやり方については、学校運営協議会や学校運営に関わる会議で、「熟議」と言われている十分な話し合いのもと決定していきます。行政や学校から一方的な提案とは違い、いろいろな人とコミュニケーションを深め、より良いやり方を模索していきます。



### ★ 地域全体で「ふるさと」学習の推進 ★

本別町の歴史や文化、さまざまな魅力を感じている地域の皆さんが、本別町に勤務で訪れる教職員の「先生」となります。また、地域人財が直接授業で子どもに教えることこそが、次世代を担う子供たちへ大切なメッセージとして受け渡せると考えています。

※このページでは、「人材」を「人財」と表記しています。宝のように大事したいとの想いから総称しています。

問い合わせ

中央公民館内 社会教育担当 ☎ 22-5111 または  
教育委員会学校教育担当 ☎ 22-2331

4月1日から町内のすべての小・中学校で、地域・学校・保護者が一体となって学校運営を進めるコミュニティ・スクール（学校運営協議会を置く学校）が導入されました。この制度は、「地域とともにある学校づくり」、「地域の子どもは地域で育てる」という理念のもと、「開かれた学校」から一歩踏み出し、地域ぐるみの学校づくりや人財育成に向けた新しい取り組みです。

たとえばこんなこと!

実際に地域のお店に行って、どんな仕事をしているのかを調べたり



地域のアイスクリーム作りの達人に指導してもらったり



農協青年部のお兄さんたちと食育学習をしたり



## タイムスケジュール

- 午前10時00分～ 開会宣言  
 溪流魚放流・釣り  
 つつじ等即売会  
 各種売店・白糠町物産コーナー  
 ふわふわランド（無料）  
 だがしや楽校  
 本別義経太鼓
- 午前10時30分～ 開会式
- 午前11時00分～ ジャンボ義経鍋（1杯 300円・1000食）  
 野点（無料）
- 午前11時05分～ OCTVキャンペーン
- 午前11時20分～ 十勝青空レディ紹介
- 午前11時45分～ うなぎつかみ大会
- 正午～ つつじ祭り写真コンテスト&モデル撮影会
- 午後0時45分～ ChaChaガールズステージショー  
 （司会：ふれさわひろみつ・かみむらしんや）  
 ビンゴゲーム大会

### ステージショー



ChaChaガールズ  
 司会 ふれさわひろみつ かみむらしんや

### 問い合わせ

実行委員会事務局 企画振興課商工観光・元気まち担当 ☎22-2141



# 第61回本別山溪 つつじ祭り

5月12日日  
 午前10時～

小雨  
 決行

義経の里本別公園ステージ前  
 主催：本別山溪つつじ祭り実行委員会

第61回本別山溪つつじ祭り  
 （実行委員会主催）が5月12日、本別公園で開催されます。1万6000株のエゾムラサキツツジと2000本のエゾヤマザクラ、盛りだくさんの催しで皆さんをお迎えします。



# 国民年金 コトナシ

こんなときは  
 国民年金の  
 手続きを！

その205

日本国内に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての人は、国民年金に加入することになっています。

加入の種類は、  
 ○第1号被保険者：自営業や学生、無職の人など

○第2号被保険者：会社員（厚生年金加入者）や公務員の人

○第3号被保険者：第2号被保険者に扶養されている配偶者

ご本人や配偶者が就職や退職した場合、次の手続きが必要です。手続きをしないと将来受け取れる年金額が少なくなったり、年金を受け取れなくなる可能性がありますので、必ず手続きをしましょう。



こんなとき	どうする	手続先
20歳になったとき	国民年金に加入の届出をする（厚生年金保険や共済組合加入者は除く）	第1号被保険者→住民課戸籍年金担当 第3号被保険者→配偶者の勤務先
会社を退職したとき	第1号被保険者になる手続きをする（扶養されている配偶者も同様）	住民課戸籍年金担当
配偶者の扶養から外れたとき	第1号被保険者になる手続きをする	住民課戸籍年金担当
結婚や退職などで配偶者の扶養になったとき	第3号被保険者になる手続きをする	配偶者の勤務先
離婚や配偶者が死亡したとき（第3号被保険者のみ）	第1号被保険者になる手続きをする	住民課戸籍年金担当

帯広年金事務所  
 ☎0155-251-8113  
 詳しくは  
 住民課戸籍年金担当へ  
 ☎22-8128  
 日本年金機構のホームページは  
<https://www.nenkin.go.jp/>

# 水道工事・下水道工事にぜひ協力を

今年度も水道工事・下水道工事を計画図の通り行います。水道工事の際には、一時断水や多少水が濁ったりする場合があります。下水道工事では、箇所によっては工法上、作業中に車両通行止めのごも出るため、回り道の案内標識をご確認の上、通行をお願いします。皆さんにはご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

## 下水道の普及状況は

町公共下水道は皆さんの温かいご理解で、平成3年3月末に供用を開始した後も順調に進み、平成30年度末で整備面積が288.0ha（事業認可面積370ha中）、管きよ（下水道の埋設の総延長は51.6kmとなりました。平成30年度の水洗化など（トイレ、台所 風呂）の状況は、改造工事および新築による接続を合わせて11件で（個人、法人、団体すべてを含む）、これまでの累計は2637件となり、水洗化率は92.06%となりました。

## 水洗化改造工事に融資・補助制度があります

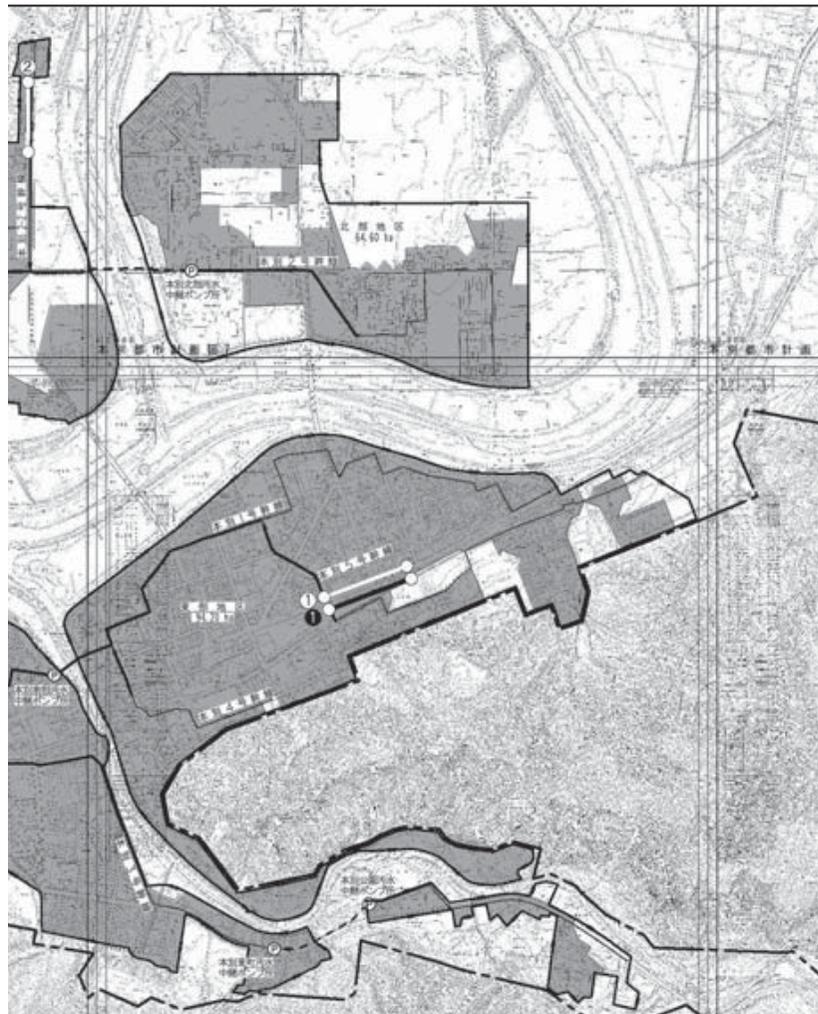
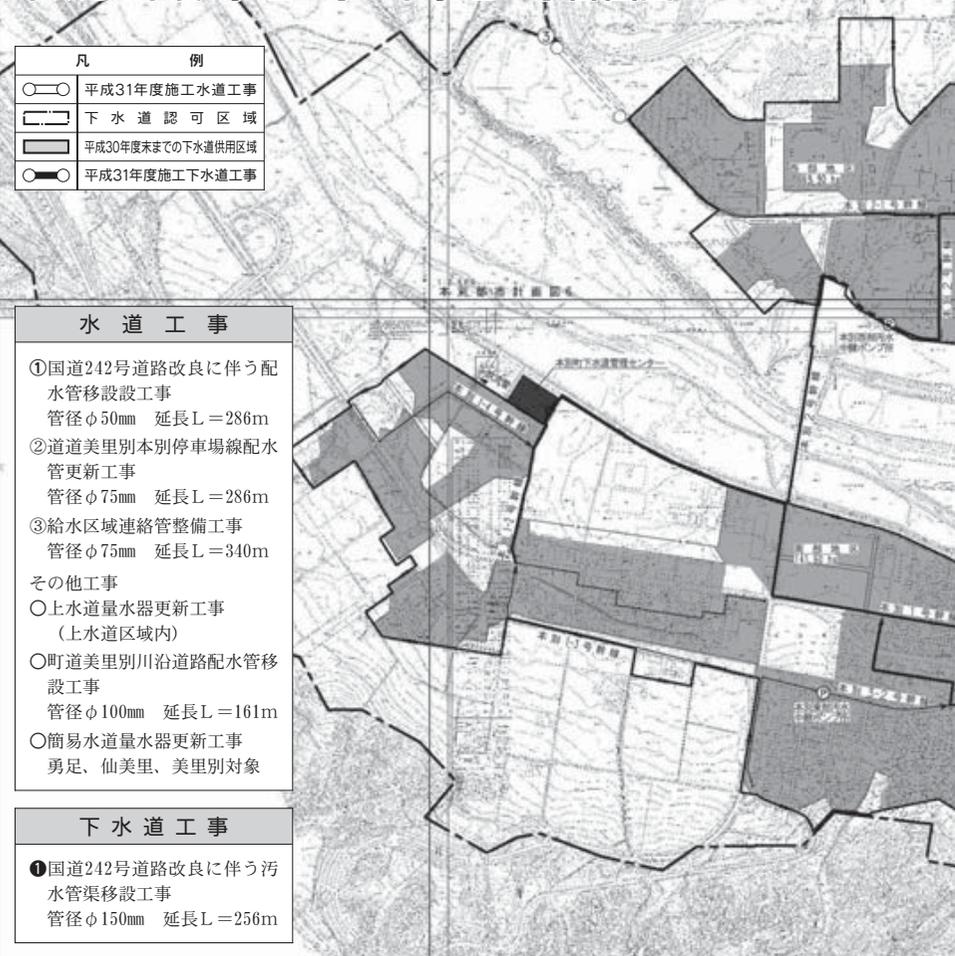
融資あっせん制度は融資額の上限が60万円。自己資金で工事を行った人への補助金の上限は6万円となっています（供用後3年以内に工事をされた場合）。3年を過ぎてから工事を行った場合は、1年経過ごとに上限の額が少しずつ低くなり、補助については5年で打ち切りとなります。

## 工事の申し込みは町の指定業者へ

給排水設備の新設、改造、修繕、撤去などの水道工事や水洗化工事を行うときは、町が指定した工事業者へ工事の申し込みをしてください。指定工事業者が建設水道課へ必要な手続きや、水洗化工事における融資あっせん制度、補助金制度の手続きを取り、工事を行います。

お問い合わせ  
建設水道課  
水道・下水道担当  
☎221-8122

## 平成31年度 水道工事・下水道工事計画図

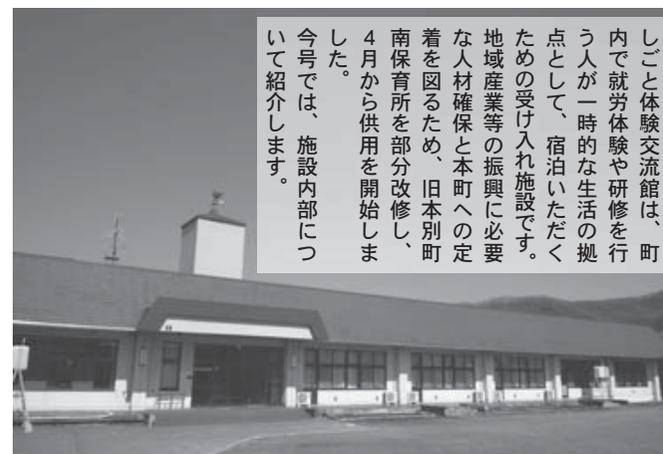


# 本別町しごと体験交流館がオープン

地域産業への人材誘致を目指して

その8

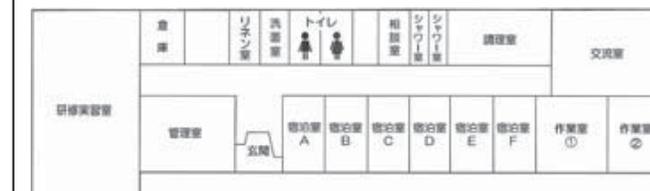
しごと体験交流館は、町内で就労体験や研修を行う人が一時的な生活の拠点として、宿泊いただくための受け入れ施設です。地域産業等の振興に必要な人材確保と本町への定着を図るため、旧本別町南保育所を部分改修し、4月から供用を開始しました。今号では、施設内部について紹介します。



◀ 玄関・廊下  
玄関ドアは、カード式オートロックとなっており、常時施錠されます。入館時には、カードキーで解錠し入館します。



【施設見取図】



## ◀ 宿泊室

冷暖房完備のほか、冷凍冷蔵庫、24型テレビ、ローテーブル、物干しスタンド、更衣ロッカー、2段ベッド（1組）を設置しています。  
※全室Wi-Fi（無線LAN）を完備



## ◀ 洗面室

洗面台3箇所、洗濯機2台を設置。  
※男・女共用



## ◀ 相談室

来館者との面談や団体利用時の個別学習等に活用。



## ◀ トイレ

子ども用だったトイレは、男性・女性それぞれ大人用へ改修。  
※写真は男性用



## ◀ シャワー室

個室シャワールームを2室設置。



## ◀ 交流室

利用者の交流・だんらん、グループでの食事やミーティングスペースとしても利用できます。



## ◀ 研修実習室

団体利用時の研修スペースとし活用。



## ◀ 調理室

自炊用調理器具、食器等を完備。電子レンジも2台設置しています。



## 3/24 施設内覧会が行われました

オープン前、3月24日の内覧会には約30人が来館しました。リニューアルされた施設内に皆さん驚かされていました。



問い合わせ 企画振興課 地方創生推進室 ☎ 22-8121

町体育協会加盟団体主催 および 各団体共催イベント いずれも参加費があまり

★ふまねつとガンバルーン体験会

とき・ところ ・5月27日(月) 午前10時30分～午前11時30分  
あいの里交流センター  
・5月30日(木) 午後1時30分～午後3時30分  
美里別地区公民館  
・5月31日(金) 午前10時～正午 仙美里地区公民館

問い合わせ 本別町社会福祉協議会 ☎22-8320  
※どちらも申し込み不要



★柔道体験会

とき 5月28日(火) 午後7時～午後9時  
ところ 柔剣道場(本別中学校隣)  
問い合わせ 柔道連盟 古山靖弘さん ☎090-5079-8667  
※申し込み不要、動きやすい服装でお越しください



★親子テニス教室

とき 5月28日(火) 午後7時～  
ところ ふれあい多目的アリーナ  
申し込み 5月23日(木)までに  
テニス協会 小川末男さん ☎080-9039-2593

★ゲートボール大会

とき 5月29日(水) 午前8時30分～午後1時30分  
ところ ふれあい多目的アリーナ  
申し込み 5月17日(金)までに  
ゲートボール協会 河野堅治さん ☎23-2611



★弓道体験教室

とき 5月29日(水) 午後6時～  
ところ ふれあい多目的アリーナ  
申し込み 弓道連盟 渡邊廣武さん ☎22-2426 ※当日申し込み可



★バスケットボール体験交流会

とき 5月29日(水) 午後6時～  
ところ 本別中央小学校第1体育館  
内容 ミニバス、ジュニア、高校、一般の部  
個人・チーム参加どちらでも可  
申し込み バスケットボール協会 加藤雅彦さん  
☎080-1861-0884へ ※当日申し込み可



★勝毎杯ミニバレー大会

とき 5月29日(水) 午後6時45分～午後9時30分  
ところ 本別中学校体育館  
内容 混成(男2女2)・160歳未満の部・160歳以上の部  
男子1人女子3人のチーム構成も可  
参加料 1人500円 景品あり  
申し込み 5月10日(金)までにミニバレー協会 高瀬英明さん  
☎080-5585-9730または FAX 22-4942

★バドミントン体験会

とき 5月29日(水) 午後6時30分～  
ところ 町体育館大競技室  
申し込み バドミントン協会 山西美奈子さん ☎090-3777-2976  
※当日申し込み可

問い合わせ 町体育館内スポーツ担当 ☎22-2331

健康スポーツ週間事業

ほんべつ健康ウイーク

気軽に運動、さわやかな笑顔

2019

本別町および教育委員会では、運動の実践により健康な心と身体を養う活動強化週間として、「ほんべつ健康ウイーク2019」を開催します。期間中、体育施設の無料開放のほか、だれもが参加しやすいスポーツ大会や運動体験教室など、たくさんのイベントを開催しますので、気軽に参加し、体力向上や健康づくりに取り組みましょう。

とき 5月27日(月)～6月2日(日)

ところ 町内全域

主催/本別町、本別町教育委員会 共催/本別町体育協会、本別町社会福祉協議会、森と川の舎

主催イベント いずれも参加費があまり

日程	イベント名	時間	会場	定員	申し込み・参加料
5月27日(月)	オープニング&早朝ラジオ体操	午前7時～ 午前7時15分	役場正面玄関前(南側)	なし	不要 無料
5月27日(月)	水中運動講習会 講師 柳田一栄氏	午後6時30分～ 午後7時30分	町民水泳プール	なし	要 無料
5月28日(火)	神居山・松尾芭蕉探索!	午前9時30分～ 正午	道の駅東側入口集合	なし	要 無料
5月30日(木)	メタボ予防改善運動 講師 若林健一氏	午後7時～ 午後8時30分	体力増進センター	10人	要 無料
5月31日(金)	豪華景品! ディスコン大会	午後6時30分～ 午後9時	町体育館	なし	要 無料 景品有
6月2日(日)	太陽の丘パークゴルフ大会	午前9時～	太陽の丘パークゴルフ場	なし	要 1,500円 景品有

期間中、すべての体育施設を無料開放します!! (休館日は除く)



健康をテーマとした関連事業も開催されます

「ほんべつ学 春の学び」  
「マチフル歴史ウォーキング」  
昔の町並みの写真を見ながら、まちなかを散歩します。  
とき 5月26日(日)  
午前10時～

集合場所 中央公民館  
申し込み締め切り 5月22日(水)  
申し込みおよび問い合わせ 歴史民俗資料館  
☎22-12141 (内410)  
図書館 ☎22-5112

子育てママのための  
リフレクシオ講座「骨盤ケア」  
とき 5月27日(月)  
午前10時～

申し込み締め切り 5月21日(火)  
申し込みおよび問い合わせ 子育て支援センターほんべつ  
☎22-18811

申し込み締め切り 5月21日(火)  
申し込みおよび問い合わせ 健康管理センター  
☎22-18811

# 平成31年度 町内小・中学校

## 本別高等学校・農業大学校入学式



仙美里小学校新一年生入場

今年度の町内の入学者数は、小学校48人、中学校36人、本別高等学校36人、農業大学校78人。仙美里小学校（東森誠記校長）の入学式では、保護者や上級生が見守る中、5人の新一年生が担任の木村雅教諭の後に続いて体育館に入場し、一人ずつ名前を呼ばれると「よろしく願います」と元気よくあいさつしました。東森校長は、「入学おめでとう。学校は楽しいことがいっぱいあります。明るく元気良く学校へ通って来てください」と新入生に語り掛けながら歓迎の言葉を述べました。

**期待と希望を胸に  
新生活のスタート**

勇足中学校（椿原雅章校長）の入学式では、5人の新入生が入学。歓迎の集いで畠山七海生徒会長が「活動の幅を広げ、有意義な学校生活を送り、たくさん思い出を作ってください」とあいさつした後、新入生が一人ひとり入学の決意を語り、生徒らは、それぞれの期待と希望を胸に新たな学校生活の一步を踏み出しました。



勇足中学校新入生決意表明

平成31年度の町内小・中学校および本別高等学校、農業大学校の入学式が4月8日、各学校で開かれました。

### 第34年次

## 本別・南三陸ふるさと交流研修会



宮城県南三陸町の中高生を迎え、第34年次本別南三陸ふるさと交流研修会が3月23日から26日の3泊4日、中央公民館や北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル足寄を主会場に開催されました。このふるさと交流研修会は、夏は南三陸町へ、春は本別町へとお互いの町を訪問し、中高生ボランティア（ジュニアリーダー）たちが、さまざまな体験活動を行う交流研修事業です。今回は、南三陸町からジュニアリーダー5人が来町。本別の参加者28人と合わせて33名で活動し、互いに切磋琢磨しながら交流を深めました。

3/25



先輩ジュニアリーダーより  
涙ながらのお話がありました

スポーツレクで玉入れ

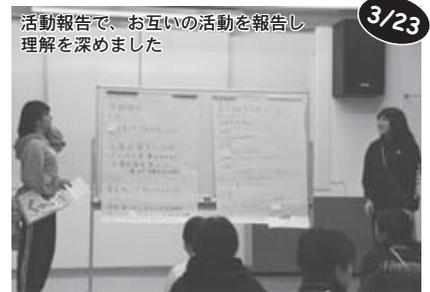
3/26



楽しかった4日間の交流研修会もあっという間。  
南三陸町のジュニアリーダーたちは笑顔で本別町を後にしました。

“チクチャク”（お別れの儀式）で  
友情と再会を誓う

3/23



活動報告で、お互いの活動を報告し  
理解を深めました

3/24



歩くスキーを体験！  
自然を満喫しました

夜は楽しくレク交歓

問い合わせ 中央公民館内 社会教育担当 ☎ 22-5111



その1

本別町歴史民俗資料館には、本別の歴史や自然などを知るための貴重な資料が保管されています。このコラムでは、そんな歴史民俗資料館の資料の魅力を紹介して、本別の歴史やそれを伝えていくことの大切さについて考えてみたいと思っています。



大和田 努 学芸員

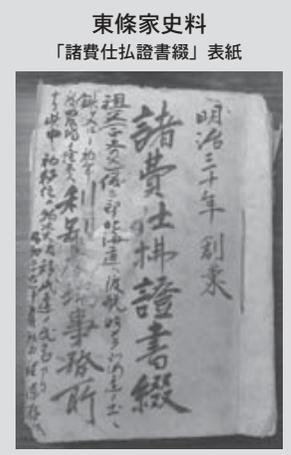
## 勇足の歴史に迫る！

### ● 利別農場

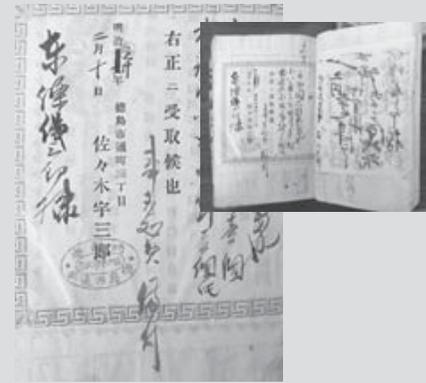
第1回目は、勇足の歴史に関する歴史資料を紹介します。本別町には本別市街のほかに、勇足地区・仙美里地区に大きな集落があります。そもそも、どうしてこの地域に集落や駅ができたのでしょうか。まずは勇足地区について、史料に触れつつみていきましょう。

勇足地区には、明治30年に徳島県から開拓者がやってきました。農場の名前は、土地の持ち主である坂東勘五郎さんから取り「坂東農場」、あるいは改称して「利別農場」と呼ばれました。坂東さんは徳島出身の国会議員で、本別には一度も住んだことはありません。坂東さんの代わりに本別で徳島の人たちのまと

このコーナーでは、シリーズで3月まで掲載した「歴史写真館@ほんべつ」の続編として、歴史民俗資料館の貴重な資料を基に定期で紹介していきたいと思えます。第1回目は、本別町出身で帯広百年記念館学芸員の大和田努さんに紹介していただきます。



東條家史料  
「諸費仕払證書綴」表紙



史料①  
時計と寒暖計の領収書



史料②  
貨物運搬賃表



史料③  
利別から勇足までの輸送に関する契約書(後半)



史料④  
柏の木に関する契約書

め役になった人物が東條儀三郎さんです。東條さんは徳島県立江村の村長を務めるなど、人々のリーダー役として活躍していたために、北海道行ききの白羽の矢が立ったのでしよう。

東條さんの家が残した農場経営に関する史料が歴史民俗資料館に保管されています。この「東條家史料」じっくり読むと、とても面白いです。分厚い帳簿を一枚一枚ひも解いてみましょう。

【史料①】は時計と寒暖計の領収書で、お店の住所は徳島市になっています。他にも領収書はたくさんあり、東條さんが北海道に行く前に、地元でいろいろ準備をしていたことがわかります。【史料②】は、函館から十勝川河口を経て利別に至るまでの、荷物の運賃をまとめた史料です。米や味噌など、品目ごとに料金が書かれています。きつと東條さんはこれをじっくり見ながら、移住にいくらかかるのかな？と計算していたのでしょうか。【史料③】は、東條さんと内田千代松さんという運送業者との契約書で、利別から勇足まで、移民の荷物を運ぶ取り決めについての史料です。当時は、一般の運送業者は利別までしか営業しておらず、利別から勇足

## ● 本別教育 発祥の地

ここでは個人に依頼する必要があったので。千代松さんは、舟を利別川に浮かべて、川縁を歩きながら運んでいったようです。

こうして移民団が勇足に到着します。東條さんの課題は、土地の持ち主の坂東さんの意向をくみつつ、現地で働く小作人の人々に意欲を持つて働いてもらうようにすることでした。いわば「中間管理職」としての手腕が問われたのです。さて、その坂東農場は東條さんがよく小作人に心を配っているからうまくいっている、と書かれています。

農場主と小作人との関係が必ずしも良好ではない農場が多いなか、異例ともいえる評価を得ています。東條さんは、地域のために渡船場を経営したり、私設の教育所を設けたりしています。特に教育所の設置は公立学校の設立以前になされたため、本別の教育の発祥であるといわれます。

高評価の秘密を、史料からも探ってみましょう。【史料④】は、東條さんと、木材会社との

歴史民俗資料館  
22-2141  
(内410)

または  
図書館  
22-5112

問い合わせ

## 小・中学校教職員の 働き方改革を 進めています

教育委員会では、学校における働き方改革を進める「本別町アクション・プラン」を平成31年2月に策定しました。このアクション・プランは、学習指導要領のねらいや社会の要請等を踏まえ、児童・生徒の指導をより一層充実したものにするため、教職員が授業や授業準備に集中し、健康でいきいきとやりがいをもって勤務しながら、学校教育の質を高めるために策定したものです。

### 教職員の時間外労働の実態は？

平成28年度に道の教育委員会が調査した「教職員の時間外勤務等に係る実態調査」では、1週間当たりの勤務時間数が60時間を越える教職員の割合が、教諭では、小学校2割超、中学校で4割超、教頭では小・中学校とも7割を超えています。また、中学校では、全国平均より長い部活動の指導時間等が課題となっています。

### 取り組みの方向性

これまでの働き方を見直し、教職員が業務の質を高めるとともに、日々の生活や人生を豊かにすることで専門性や人間性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動の質を高めるといふ、働き方改革のめざす理念を推進し実行します。学校はもとより、国、地方公共団体、さらには家庭や地域等を含めたすべての関係者が、教職員の勤務実態に理解を深め、その解決に向け取り組んでいくことが重要です。

### 具体的な目標および期間

具体的な目標を次のとおり設定し、令和2年度までに取り組んでいきます。

- ① 1週間当たりの勤務時間が60時間を越える教職員をゼロにします。
- ② 部活動で休養日を週当たり2日（平日1日、土・日曜日で1日）以上、また、学校の閉庁日（夏期3日、冬期6日間を予定）も休養日とし、実施割合を100%とします。



このページでは、アクションプランの主な目標を掲載しました。教育委員会として学校での働き方改革を推進していくために、学校や家庭、地域の皆さんの理解と協力をお願いします。

問い合わせ 教育委員会 管理課 学校教育担当 ☎22-2331

## 地域おこし 協力隊が行く



Part 8

こんにちは。農福連携事業支援員の岩崎です。長かった冬が終わりすっかり春めいてきました。山菜の香る短い春を堪能すべく、今年は大ぶら鍋を新調して準備万端、うれしい季節がやってきました。5月でも雪の降ることがあるという北海道。出身地である東京では、早くも夏日を記録する日が出てきます。早稲年であれば3月に桜が舞い、お彼岸の頃にはきまぐれに彼岸花が咲き、9月の終わりになると、どこからともなく金木犀の香りがして来る。東京でも節目節目で季節を感じることはありませんが、北海道の季節の変わり目はどちらかというと、冬を境にめまぐるしく季節が変わっていき、短い春から秋がびゅんっと駆け抜けていくような、そんな印象です。



タマネギの袋詰め作業の様子

**連携の見えてきたテーマ**  
さて、これまで町内での取り組みについて報告してきましたが、今回は農福連携における課題から見えてきたテーマについて、すこしお話ししたいと思います。課題といたっても行政として取り組んでいること、町民の皆さんにご協力いただいている事、多々あるかと思いますが、あくまで農福連携から見た一意見としてお読みいただけたらと思います。

「地域おこし協力隊」農福連携事業支援員の岩崎（旧姓 柏木）祥子さんが、その取り組みや本別の暮らしについて、紹介します。

り、今後ますます増えていくと考えられます。農福連携をスタートしてみても、適切な支援さえあれば、障がいのある人も、十分な労働力になれることは、十分つ実証できているのかなと感じています。が、働く力をつけてもそれを活かす場所、受け皿がまだ少ないように思います。農業者と福祉事業所をつないでいく中で感じたことが、お互いのことがわからない、という不安はあつて当然なのですが、お互いの居場所が限定的で、接する機会がとて少ないということがありました。少し大きな例えになりますが、高齢者は介護施設へ、障がい者は福祉施設へ、福祉サービスを利用することで働ける障がい者は就労支援施設へといったように、今の社会はサービスを利用することによって、居場所を限定してしまふ一面があるように思います。もちろん福祉制度は充実してきました、使えるサービスは増えてきました。一方で、障がいとも病氣ともつかない軽度の人など、そういった人の居場所、役割をもっと活躍してもらえないような場所は少なく、医療か福祉かと



春のゴボウ収穫作業

いった、選択肢が限定的になりやすい構造があるようにも感じます。

以前参加した研修の中で、「支える人」と「支えられる人」を分けない地域づくり」というお話を聞く機会がありました。そのことは、「障がい者」とよばれる人」と「障がい者とはばれない人」を分けない地域づくり」、農福連携にも通じるものがあるように感じました。

農福連携の「農」に商業や工業も加わり、「福」には障がい者だけでなく、先ほど述べた軽度の人や、あるいはまだまだ現

役で労働を希望する高齢者の人など、あらゆる方面が繋がっていくことができた。居場所を限定せず、まるっといろんな人が手を組んでいけるような町づくり、農福連携からできるアプローチを今後進めていきたいと思っています。

問い合わせ  
総合ケアセンター  
障がい者福祉担当  
☎22-8520

## 北海道指導林家に 齋藤元一さんが認定

3/26

北海道指導林家認定証伝達式が3月26日、役場で行われ、町森林組合代表理事組合長の齋藤元一さんに、十勝総合振興局森林室宮崎孝男室長より認定証と腕章・認証バッジが手渡されました。指導林家とは、地域で模範となる森林づくりに取り組む森林所有者を道知事が認定するもので、町内で3人目。齋藤さんは「植林からその後の生育のためにも、森林管理に努めていきたい。」と抱負を語りました。



## トレーニング方法を学ぶ

3/17

平成30年度町体育協会技術講習会兼町少年団本部指導者・母集団研修会（同協会、同本部主催）が3月17日、町体育館で開催されました。帯広農業高校陸上部の西山修一監督を講師に、実技と講演の2部構成で行われ、町内の少年団と中学校、本別高校運動部の団員や指導者ら約70人が参加。実技では、ダンスを取り入れたリズムカルなウォーミングアップや、メディシンボールを用いて体幹などを鍛える「ダイナマックストレーニング」、講演では、西山監督が部員に行っている「メンタルトレーニング」を紹介し、参加者は体力や心づくりの方法を学びました。



## バスに乗って 映画を見に行こう！

3/26~28

ふるさと銀河線代替バス振興会議（北谷和雄会長）による、十勝バスを利用した春休み子ども映画鑑賞会が3月26日から28日までの3日間、十勝バス陸別線の本別帯広間で行われました。平成20年から開催され今年で11回目となる企画に、町内の小学生107人が参加。バス車内では、引率からバスの乗り方や料金の見方、乗車マナーを学び、帯広市内の映画館で人気アニメキャラクターの映画を鑑賞して楽しみました。



## 3町の食材で シェフが魅力を再発見

3/21

十勝東北部三町の広域連携事業の一環として、若手異業種有志で立ち上げた三ツ町商会（儀間雅真代表）主催による三町の食を情報発信していくイベントが3月21日、ゲンキッチンで開かれました。本別町出身で、東京都内で飲食店を営む大西哲也さんが講師に招かれ、陸別町の鹿肉、足寄町のチーズ、本別町の金時豆を使った料理「チリコンカン」を披露しました。大西さんは参加した約50人を前に、「本別産の豆は味の評価が高い」「肉の大きさにむらがあっても、むしろ料理の味に立体感がでる」など軽快なトークを交えながら料理を完成。出来上がった料理を参加者全員で試食し、地元食材の魅力を再確認しました。



## お詫び

### ふるさと納税ワンストップ特例の手続きミスについて

平成30年中に本町にふるさと納税をされた寄付者のうち、確定申告が不要となる「ワンストップ特例制度」を希望された人は、全国290自治体473人となっておりますが、そのうち、190自治体317人分について、税額控除に必要なデータ（情報）が寄付者の居住する自治体に送信されていなかったことが、3月27日に判明いたしました。

このことから、同日、未送信となっていた317人分のデータを各自治体へ送信するとともに、翌28日に、データが未送信となっていた190自治体へ連絡し、お詫びと税額控除の手続き対応について確認をいたしましたところ、最終的に手続きが間に合わなかった自治体は16自治体で対象者は44人となったところであります。

税額控除の手続きが間に合わなかった44人の方々へは、電話連絡により謝罪と確定申告の案内説明を行っております。

本町に思いを寄せ、貴重な浄財を寄付された皆さまに不快感、不信心、ご迷惑を与えましたことに深くお詫びを申し上げますとともに、町民の皆さまに對しまして不信心を与えましたことに深くお詫び申し上げます。

今後は、二度とこのようなことがないように、ふるさと納税担当窓口の機能強化とチェック体制の見直しを行い、しっかりと対応してまいります。

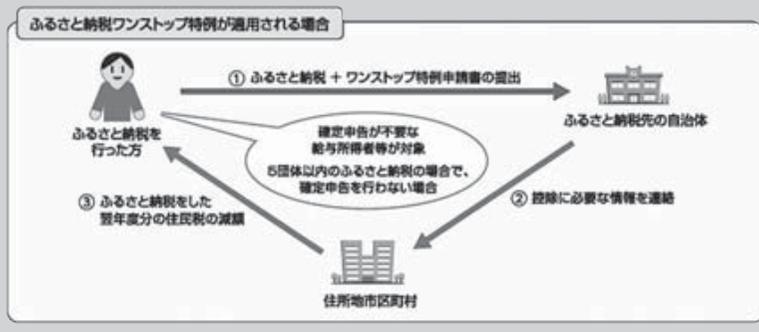
### ふるさと納税とは

ふるさと納税とは、ふるさとや応援したい自治体へ寄付ができる仕組みのことです。寄付をすると、寄付金の使い道が選べ、まちづくりに貢献することができます。「納税」という言葉がついている「ふるさと納税」ですが、実際には、本別町への寄付金となります。

本別町では、このふるさと納税制度を利用し、お寄せいただいた寄付を「本別町個性あるふるさとづくり寄付金」と名づけ、保育料独自軽減事業や本のまち・夢プラン事業等のまちづくり事業に活用しています。

### ワンストップ特例について

ワンストップ特例制度とは、ふるさと納税をした後に確定申告をしなくても税の軽減（寄附金控除）が受けられる便利な仕組みです。この制度の適用を受けると、寄付を行った翌年の6月以降に支払う個人住民税が控除されます。



## 交通安全を願って

気温が上昇し気が緩みがちになる春。子供たちが悲惨な交通事故にあわないようにと、町内の各団体が交通安全を願って、さまざまな取り組みを行いました。



本別ライオンズクラブ（岡崎勉会長）が4月1日、認定こども園ほんべつで交通安全の黄色い帽子30個を贈呈しました。岡崎会長は、「交通事故に遭わないように気をつけて」と幼児に呼び掛けました。



町交通安全指導員会（宮崎統会長）主催による登校時の交通安全キャンペーンが4月10日、本別大橋交差点や勇足・仙美里小学校前など5箇所で行われました。同日、同指導員10人のほか、本別警察署（中野浩一署長）署員、町青色回転パトロール隊（石山憲司隊長）隊員など約30人が参加し、学校へ登校する児童・生徒たちに、ポグットティッシュ400個やキーホルダー400個を手渡しながら交通安全を呼び掛けました。

中央小学校（式見祝賀校長）では、1年生が4月12日、2から6年生が4月17日、全校児童198人を対象にした交通安全教室を実施しました。両日とも交通安全指導員2人と教諭の指導のもと、実際に道路を通行し、横断歩道の渡り方や自転車の乗り方など、事故に遭わないための交通ルールを学びました。

## ボランティアで町がきれいに

4/13

チエイトイ1・2、負飯1・2の4自治会が合同で4月13日、同自治会沿道の道道499号を中心にごみ拾いボランティアを行いました。これは、4月からごみの分別方法が変更されたことに伴い、役場住民課による出前講座に併せて実施されたもので、4自治会の幼児から大人まで約80人が参加。収集後は、集まったごみを前に同職員から分別方法について説明を受け、理解を深めながらごみの処理に汗を流しました。



## 家族で楽しい音楽会

4/5

教育委員会と子育て支援センターほんべつ主催による「親子のためのふれあい音楽会」が4月5日、認定こども園ほんべつで開催されました。本別高等学校吹奏楽部（志賀美桜音部長）の部員と同校ボランティア部の11人は、アイアイなどの童謡メドレーやアンパンマン体操など6曲を演奏したほか、絵本の読み聞かせを披露しました。参加した子育て支援センター利用者の家族や同園園児ら130人は、演奏曲に合わせて歌ったり踊ったりするなど、楽しいひとときを過ごしました。



## 春の訪れ、本別公園・遊具オープン

4/13

本別公園の義経の館やかぶと池のポートなどの遊具が4月13日、本年度の営業をスタートしました。オープン当日は、暖かい陽光に誘われて町内外から大勢の利用者が来場し、にぎわいを見せました。同公園では、義経の館の売店やレストラン、総合案内所が12月27日まで、ポート、ゴーカートなどは10月7日までの土曜日から月曜日およびゴールデンウィーク、夏季期間（6月29日から9月2日）において毎日営業しています。



## キノコが出るのが楽しみ

4/13

本別町林業グループ（会長＝布施秀夫）によるキノコ栽培研修会が4月13日、役場前で開催されました。抽選で選ばれた20人の参加者たちは、十勝総合振興局森林室足寄事務所の職員から菌の植え付けやほだ木の管理方法などの説明を受けた後、4班に分かれて作業を開始。用意された原木（ミズナラ）100本に種菌を木づちで植え付け、完成したほだ木は参加者が自宅へ持ち帰り、各家庭で管理していきます。参加した牛渡陽子さんは、「興味があり参加してみた、キノコが出るのが楽しみ」と話しました。



## 改元に伴う文書等の取り扱いについて

町で使用する文書等については、従来から原則として元号を使用しています。新天皇の即位に伴い「元号を改める政令」が施行され、5月1日より町が作成・発送する文書については、新元号の「令和」を使用します。

それ以前に町が作成・発送した文書等については、年度および日付を旧元号「平成32年度」「平成31年5月31日」のように「平成」で表記しているものがあります。

平成で表記された日付等について、法律上の効果が変わることがありませんので、新元号の「令和」と読み替えていただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。

# 未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星  
たちです。お父さん、お母さん  
のたくさん愛に包まれてすく  
すく元気に育ってね!



北〇丁目  
小川 日菜梨  
(小春ママ)



美蘭別  
若木 幸輔  
(ハマママ)



北〇丁目  
佐藤 凜  
(玲奈ママ)



向陽町  
岡田 采子  
(志乃ママ)



拓農  
大川 愛莉  
(亜紀子ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

## ご寄付ありがとうございます

平成31年3月16日から4月15日

次の通りご寄付をいただきました。  
紙上に厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町国民健康保険病院指定  
金 50,000円 …… 匿名
- ★本別町スポーツ振興基金  
金 42,620円 …… 本別ゴルフ同好会 会長 岡崎 勉

- ★栄町児童館指定  
地球儀 1台、日本大地図 2冊セット  
…………… 栄町 小澤 一男
  - ★本別町へき地保育所指定  
交通安全帽子 7個  
…………… 本別ライオンズクラブ 会長 岡崎 勉
  - ★消防署指定  
ウエス 100枚 …… 新町長寿クラブ 会長 木村 功
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付  
計 金 3,295,000円 …… 238人

# みんなの健康

417

親の在宅介護に直面している人、もしくはこれから介護の必要が出てきそうな状況の人で、介護が忙しいために「本当は働き続けたいが仕事を辞めなくてはならない」と不安になっている人はいませんか？

## 介護離職を しないために

介護休暇などの両立支援制度と、介護保険制度と、によるサービスを手く活用することで、仕事と介護の両立ができるかもしれません。

まずは制度を知ることが大切になります。町の介護サービス資源についても、当センターで発行している「ぐるーり本別福祉マップ」の活用や、親が元気なうちに将来の思いを確認しておくことも必要です。



地域包括支援センター  
副主査  
竹村 修司

※厚生労働省ホームページ  
<http://www.nhiw.go.jp>

# 銀河ホップアップマシン

## 足寄町

第36回

足寄ふるさと花まつり

春の訪れを感じながら、家族や友人と焼き肉を食べて楽しいひとときを過ごしませんか。皆さんのお越しをお待ちしています。

5月26日(日)  
午前9時45分〜

- ところ 足寄町役場横駐車場
- 内容 町民ステージショー、丸太切り競争、カマス挙げ大会、あゆみちゃんフワフワドーム、焼肉用七輪貸し出しなど
- 問い合わせ 足寄町役場経済課商工観光・エネルギー担当  
☎2512141 内線251

## 陸別町

オフロードバトル2019

今年の陸別のモータースポーツの幕開けとなる「オフロードバトル2019」が開催されます。バギー車とATVによる白熱のレースをぜひ観戦ください。

5月19日(日)  
午前9時スタート

- ところ 陸別サーキット(陸別町ウエンベツ)
- 入場料 無料
- 問い合わせ 陸別町役場産業振興課商工業振興担当  
☎2712141 内線1305



# 本のある暮らし 218

# 今だから「万葉集」

## 戸籍のまど

### お誕生

3月後半から  
4月前半の  
届出分

細田 泰地くん 拓郎さん 3/21 仙美里元町  
琴代さん

### おくやみ

篠原トキ子さん 95歳 3/16 美里別西上  
吾妻良子さん 71歳 3/25 上本別  
谷藤シズエさん 99歳 3/30 栄 町  
佐々木シゲ子さん 79歳 4/3 仙美里2  
森岡 嗣さん 91歳 4/3 北7丁目  
木下 和子さん 87歳 4/4 柏木町  
榊田 夏子さん 97歳 4/15 上押帯

## ～「令和」の由来がここに～

5月1日から、新元号「令和」がスタートしました。今回の改元では、日本の歌集「万葉集」がよりどころとされたことで話題になりましたが、さて、どんな書物なのでしょう？「万葉集」の魅力に触れてみませんか。

### 「万葉集」ってどんな意味？

万=よろず、葉=言葉、集=集まり。と考えると分かりやすいですね。たくさんの言葉、つまり多くの歌が集められた書物という意味です。

### いつ、誰が作ったの？

編者は不明ですが、今から1200年以上前の奈良時代末期（8世紀末）に作られたました。現存する日本最古の歌集で、約130年間に詠まれた歌が収められています。

歌を書で表現。書家によって趣が異なります



万葉集の楽しみ方いろいろ

花と歌のコラボ  
が美しい写真集

とりあえず、  
児童書が  
分かりやすさ  
一番！

### どんな内容なの？

天皇や皇室関係者、朝廷役人から庶民まで幅広い階層の作者による歌4500首余りが、20巻にまとめられています。相聞（恋歌）、挽歌（哀悼）、雑歌の3部門に大別されます。

### 「令和」はどこから？

巻5「梅花の歌32首」の序文「初春の令月にして気淑く風和ぐ」から引きました。九州・大宰府で催された歌人たちの梅の花見。その宴のすばらしさを描いている巻です。

## わたしたちのまち

前月比  
人口 **6,891人(-150)**  
男 **3,349人(-84)**  
女 **3,542人(-66)**  
世帯数 **3,573戸(-76)**  
〔3月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先  
**本別町図書館**  
(愛称：ぶつくる一丸)  
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112